

「北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画（案）」に対する

パブリックコメントの募集結果について

「北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画（案）※¹」について、パブリックコメントを実施しましたところ、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。
お寄せいただいたご意見に対する協議会の考え方をまとめましたので公表します。

※ 1 : 北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画【遠軽町・湧別町・紋別市方面】（案）、
北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画【北見市・美幌町・津別町方面】（案）

1. 募集期間

令和7年6月20日（金）から令和7年7月22日（火）まで

2. ご意見の件数

2件

3. 寄せられたご意見とご意見に対する協議会の基本的な考え方

番号	ご意見（原文ママ）	協議会の考え方
1	<p>【対象計画：北見市・美幌町・津別町方面】</p> <p>対象区間と少し超えてしまうかもしれませんのが女満別空港⇒北見の間のバス停を高野ではなく、他の公共交通機関を利用しやすい美幌駅近くのアーツの前などに設置していただけると非常にありがとうございます。</p> <p>これから先、高速道路開通で便利になるところで申し訳ありませんが、もしかしたら端野の方も停車して欲しいと要望が出るかもしれませんが必要がありそうですので、ご検討くださいますようよろしくお願いいたします。</p> <p>それと、観光シーズンの特定日のみで構いませんが、発着も期日限定の空港からの経由？どこからどうニーズがあるのかお伝えしづらいのですが、高齢者？観光客がレンタカーや免許無で、たまには美幌峠に行きたい、など耳にするので水1本付で運行サービスが有ると面白いかもしれません。</p>	いただいたご意見は、関係する路線を運行するバス事業者に共有するとともに、今後の地域公共交通施策の参考とさせていただきます。

番号	ご意見（原文ママ）	協議会の考え方
2	<p>【対象計画：遠軽町・湧別町・紋別市方面】</p> <p>私は通院（現在は JA 北海道厚生連遠軽厚生病院に通院中）や遊びにおいて年にけつこうなひんど（少なくとも 3 カ月に 2 回）で紋別一遠軽間の路線バスを利用させて頂いている。当路線が「分断」のウワサを目にしたのは、今年 2 月に通院で遠軽町を訪れていた際にコンビニで仕入れた同町広報で本当に目を疑ってしまった。</p> <p>去年、運転手不足（が一番なのだろう）で最終便が減便され、湧別や紋別の住人が札幌・旭川・北見からの最終列車・バスよりの乗継ができなくなり、追い打ちをかける大打撃となつた。今年度中に「利便性増進」なるものが行われると 2 年連続で「大打撃」である。</p> <p>私はこの計画、「大反対」である。</p> <p>初めに記した様に、当路線は通院（さらにいえば北見や旭川、札幌へも）のみならず、紋別高等養護学校やプラスバンド目当てで通う紋別市内から遠軽高校へ通う生徒も一定数存在する。眼科へ行った後、人にもよるが、目が目薬によって見づらくなるため苦労する人もいるのではないか。かといって運転手不足や（特に？）遠軽町の財政状態に右左されるから（湧別や紋別にもいえるが）致し方ないのかもしれないし承知もしているが。</p> <p>どうしても進めたいのであれば、以下を条件に容認する。</p> <p>①全国交通系（キタカ、スイカ、パスモ等） IC カードやタッチ決済（スマホ・クレカ）、WAON 等スーパー系 IC カードの導入・支援</p> <p>②遠軽厚生病院前へのバス停 新・移転</p> <p>③JR 遠軽駅前への乗入。及び遠軽高校延長が提案されているが、登下校時以外でも一部便だけでも商業施設が点在する「遠軽南町 3 丁目」へ延長。（遠高の手前）</p> <p>④「紋別中湧別線」の北見延長便（路線）の開設。紋別市は「北見赤十字病院」へ</p>	<p>今回の路線の最適化につきましては、既存の形のままでは将来的に路線バスの運行を維持できなくなる可能性がある中で、その状況を回避し、地域の皆様にとって必要なバス路線を維持していくことを第一に考えて実施するものです。</p> <p>持続可能な形とする中で、乗り換えの発生など、一部の利用者の方にとって不便と感じる変更点もあることにつきましては、乗り換え時間が空かないようになるなど、不便と感じる影響については最小限にし、運行地域全域で見た時には利便性が向上されるよう進めてまいりますので、ご理解のほどお願ひいたします。</p> <p>今回いただいたご意見につきましては、各市町の将来的なまちづくりやバス事業者の長期的な経営戦略に関する事項であることから、今回の計画への反映は困難でありますが、今後の地域公共交通施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ご意見（原文ママ）	協議会の考え方
2	<p>の通院者向けに市が利用者に予約を取らせて貸切形式で通院バスを運行していたが、去年乗合認可に移行した。ほぼ同じ時に湧別町の町営で中湧別と佐呂間間でバスを走らせ佐呂間の北見行の「ふれあいバス」に接続する路線を開始したが、これら2つを合わせた形となる。紋別日赤線は途中休憩以外はノンストップで「超特急」の為通過地域では不評である。3往復が望ましい程度だろうが、置換の場合通過停留所が出てきたり、北見の高校へ通学できる様になれば湧別・佐呂間高校の存廃問題になりかねない。北見側の起終点が三輪地区ならよい。が北紋バスの要員事情をクリアせねばならないし、シートベルト付車両を入れないと、もネックである。</p> <p>⑤予約制の「乗合タクシー」導入を。考えられるのは</p> <p>(イ)北見・旭川からの最終 JR+札幌からの北見バス→紋別行乗合ハイヤー→折り返し遠軽行乗合ハイヤー→(遠軽入って停車する様になったら)札幌行夜行バス（北海道バス）</p> <p>(ロ)札幌からの夜行バス→乗合ハイヤー～折返し遠軽行→網走行 JR始発ここまで遠軽拠点。</p> <p>(ハ)紋別から遠軽→札幌夜行バス上下便→紋別へ帰る行路 しかし、バス以上にハイヤーの人が…</p> <p>1989年にJR名寄線が命終して40年近く。ドンドン人口も減り、交通が不便になっていくと、都会へいくのである。ネットカフェがない地域である。「道営ネットカフェ」がなければ、車でも列車でもバスでも、田舎に来てくれないのである。道は今回といい、函館線の小樽以南でこんなのをやつていくのだろうか？</p>	C

※「意見に対する道の考え方」のA～Eの区分は次のとおりです。

A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかつたもの
E	案の内容についての質問等

問い合わせ先

北海道オホーツク地域等公共交通活性化協議会事務局
(オホーツク総合振興局地域政策課内)

電話：0152-41-0623